

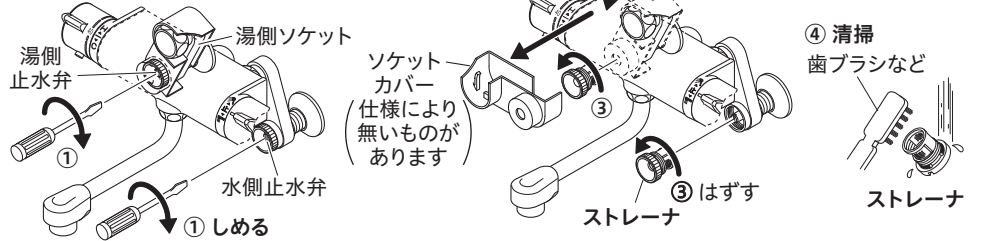
日常のお手入れ・保守

ストレーナの清掃方法

ソケットのストレーナ清掃

ソケットのストレーナにゴミが詰まると、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合がありますので、定期的に清掃してください。

- 【△警告】・ストレーナの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。ストレーナをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。・湯側ソケットの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。
- ① 湯水の止水弁〔2か所〕又は元栓をしっかりと締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
 - ② ソケットカバーを反時計回りに回してから、手前に引いて取りはずします。(ソケットカバーは仕様により無いものがあります)
 - ③ 湯側・水側のストレーナ〔2個〕を取りはずします。
 - ④ ゴミ・水アカ等を洗い流します。

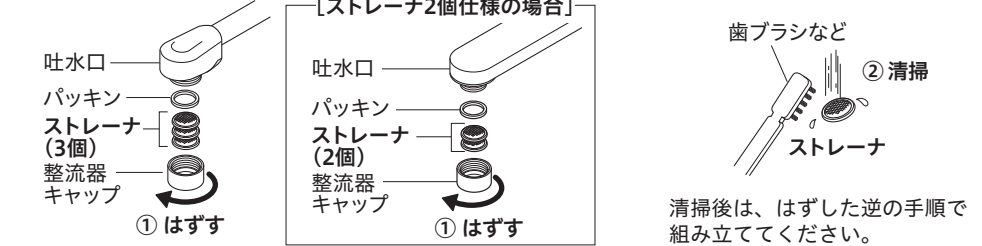


清掃後は、上記と逆の手順で組み込んでください。シャワー仕様の場合、ストレーナを締め込む時、吐水切換ハンドルを吐水口側にしてください。混合栓仕様の場合、ストレーナを締め込む時、吐水ハンドルを吐水側にしてください。

吐水口のストレーナ清掃

吐水口のストレーナが詰まると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃してください。

- ① 吐水口の整流器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナを取りはずします。
- ② ストレーナをブラシで水洗いします。



お手入れ方法

【軽い汚れの場合】汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。

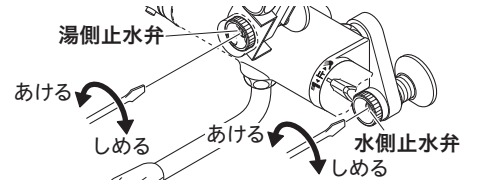
【ひどい汚れの場合】中性洗剤をぬるま湯でうすめて、柔らかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭き取ります。

【使ってはいけないもの】水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。

【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。

流量の調節方法

流量の調節は右記の方法で行ってください。



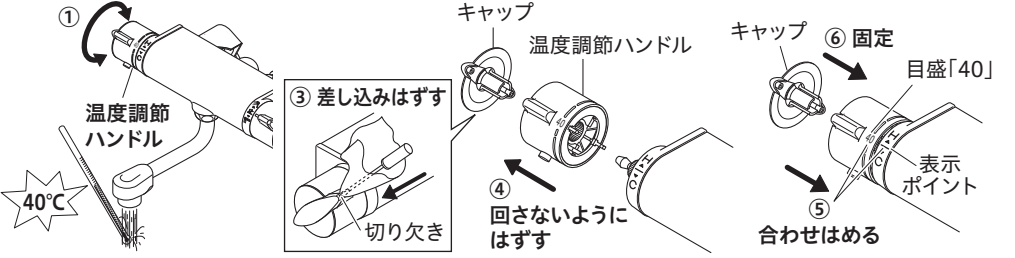
温度調節ハンドルの設定方法

工場出荷時に温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならない場合があります。温度調節ハンドルの目盛がズレている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。

- 【はじめに確かめてください】
- ・止水弁を全開にしているか確かめてください。
 - ・ストレーナにゴミが詰まらないうかが確かめてください。
 - ・給湯温度50℃～60℃の湯が給湯されているか確かめてください。

- ① 全開吐水で目盛に関係なく40℃のお湯が出る所まで、温度調節ハンドルを回します。
- ② 薄手の布を精密ドライバーの先端にかぶせます。
- ③ 精密ドライバーをキャップの切り欠き部に差し込みキャップをはずします。(切り欠きは温度調節ハンドル目盛「40」の真裏側のキャップにあります。)
- ④ 温度調節ハンドルを回転させないように取りはずします。
- ⑤ ハンドルの「40」の目盛を表示ポイントに合わせてはめます。
- ⑥ キャップにて固定します。

【お願い】取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。 ※ 目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。



定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

温度調節ハンドルの操作性 (1か月に1回程度)

- 【△注意】時々温度調節ハンドルをいっぱい回してください。温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。

- 【吐水切換ハンドル(または吐水ハンドル)の操作性】時々吐水切換ハンドル(または吐水ハンドル)をいっぱい回してください。吐水切換ハンドル(または吐水ハンドル)を長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、吐水切換機能が損なわれるおそれがあります。

配管まわりからの水漏れ (1か月に1回程度)

- 【△注意】配管まわりから水漏れがないか確認してください。部品の劣化・摩耗などにより継続的な漏水につながりますので、配管まわりの点検を行ってください。

凍結予防のしかた

- 水栓が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。凍結による部品の破損は、保証期間内でも有料修理となります。
 - 凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお、氷点下になる場合は、凍結予防の処置をしてください。
- 【△警告】解氷機を使用する際は、水栓(給水・給湯管含む)には通電しないでください。水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 【△注意】凍結が予想される際は、下記の手順に従って水栓金具の水抜きを行ってください。怠りますと、凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

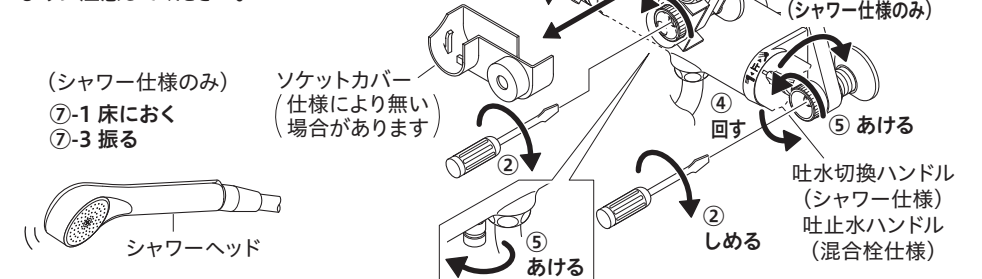
一般地仕様水栓の場合

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。・水栓より少量の水を出しておきます。・配管部などに布を巻きます。

寒冷地仕様水栓の場合

器具のみの水抜き (配管に水抜きがない場合)	配管からの水抜き (配管に水抜きがある場合)	操作
	①	配管の水抜き栓を操作します。(給水元の水抜き栓の操作)
②		湯水の止水弁(2か所)を締めます。
③	③	ソケットカバーを反時計回りに回してから、手前に引いて取りはずします。(ソケットカバーは仕様により無いものがあります)
④	④	シャワー仕様の場合 吐水切換ハンドルを吐水口側にします。 混合栓仕様の場合 吐水ハンドルを吐水側にします。
⑤	⑤	水抜き栓(1か所)とストレーナ(2か所)を開けて水を抜きます。
⑥	⑥	温度調節ハンドルを「H」に回して水を抜き、「C」に回して水を抜きます。
⑦	⑦	シャワー仕様のみ (-1)シャワーヘッドを床におきます。 (-2)吐水切換ハンドルをシャワー側にします。 (-3)シャワーヘッドを振って中に水を抜きます。

- 【△警告】湯側ソケットの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。



【お願い】上記と逆の手順で操作して通水を再開してください。必ず水抜き栓とストレーナがしまっていることを確認して、吐水切換ハンドル(または吐水ハンドル)を「止」の位置にしてから通水してください。通水を再開しても水が出ない場合……吐水切換ハンドルを吐水口側(または吐水側)にして、しばらくお待ちください。これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象です。異常ではありません。

定期的な部品交換 (部品は水栓の種類によって異なります)

使用年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
お客様による日常のお手入れ・点検	○											
消耗部品の交換 (シャワーホース・パッキン等) [有料]	○											
摩耗劣化部品の交換 [有料]	○											
部品の交換	○											
補修部品の供給期間	○											

【△注意】中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換をおすすめします。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。(逆止弁は仕様により付いていないものがあります。逆止弁の位置は「各部の名称」をご覧ください。)

部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	吐水切換ハンドルは止水位置に合っていますか 止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴はシャワーヘッド内の残留水です故障ではありません	吐水切換ハンドルを止水位置に合わせる	4ページ「吐水切換方法」
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか ストレーナにゴミ等が詰まっていますか	止水弁を開ける ストレーナを清掃する	6ページ「流量の調節方法」 5ページ「ストレーナの清掃方法」
(シャワー)が弱い	ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替式のものでは適正能力にセットされていますか ストレーナは凍っていませんか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする ストレーナにぬるま湯をかける	—
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6ページ「流量の調節方法」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか 給湯器の給湯温度を50℃～60℃に上げる	止水弁を開ける	6ページ「流量の調節方法」
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか 給湯器から十分な湯がきていますか ストレーナにゴミ等が詰まっていますか 温度調節ハンドルの設定は合っていますか	止水弁で流量を調節する 給湯器の設定温度・作動を確認する ストレーナを清掃する 温度調節ハンドルの設定を確認する	6ページ「流量の調節方法」 — 5ページ「ストレーナの清掃方法」 6ページ「温度調節ハンドルの設定方法」
吐水が飛び散る	ストレーナにゴミ等が詰まっていますか	ストレーナを清掃する	5ページ「ストレーナの清掃方法」
シャワーの吐水状態が不安定 (シャワー仕様のみ)	給湯器の給湯温度を50℃～60℃に設定し、水側止水弁をしぼることにより、改善される場合があります	—	—

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】
【△注意】修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。